

【全 体】

- ・登録部品の部品種別に下記の8個を追加しました。固定で、名前の変更などは出来ません。
SON SOT LGA DFN CLCC LPCC SOP-H QFP-H

【入力・編集】

- ・径寸法線入力対象データが直線の場合、45度の線でもエラーとせずに表示する様に修正しました。
カット寸法ではなく、辺の長さに変更しました。

【ネット入出力】

- ・CADLUS サーキットから出力されるネットファイルは、アシストツールの[ネット入力]でも、[ネット情報入力]の [ネット入出力]-[ネット入力]でも読み込める様に修正しました。
(従来は[ネット情報入力]の[ネット入出力]-[他基板ネット入力]のみ読み込みました)
- ・”KiCad2”フォーマットのネット入力を追加しました。
- ・”CR5000”フォーマットで1データが複数レコードの場合エラーとなる不具合を修正しました。
- ・アシストツールの[ネット入力]で信号名が 50 文字を越えた場合、信号名変更リストを表示する様にしました。
- ・各信号名にテストパッド用のネットを追加する機能を追加しました。

【その他】

- ・穴図出力の“DXF 出力”で出力した DXF ファイルを、一部の DXF ファイル読み込みソフトで、帳票の枠線と文字位置がずれる場合がある為、文字の出力を変更し、極力ずれないように修正しました。
- ・部品生成でパターンにテーパーが付いている場合、そのテーパーが 2 重に作成される場合がある不具合を修正しました。
- ・アシストツールの面付での V カット生成時に基板サイズの小数点以下が、微小な値があると最後の V カット線が出力されない不具合を修正しました。
- ・基板チェック設定に”自動バックアップ中は基板チェックをしない”を追加しました。

【制限事項】

- ・マイクロソフト社の Office2010 日本語 IME は使用せずに、他の日本語 IME を使用して下さい。
各操作中に”動作を停止しました。”とエラー表示されます。